



1 貧困をなくそう



【ゴール1】貧困をなくそう

「貧困」と聞くと、先進国である日本には関係のないことのように感じる方も多いのではないのでしょうか。しかし、日本においても、平均的な生活水準に比べて経済的に貧しい状態を意味する「相対的貧困」が問題となっています。実際、日本では6人に1人が月10万円以下で暮らしており、中でも母子家庭への支援は喫緊の課題です。また世界で見ると、6人に1人が極度の貧困状態にあると言われており、1日1.9ドル(日本円で約200円)での生活を余儀なくされています。

苅田町の取り組みは？

子育て世帯に寄り添う支援を実施しています

苅田町では、子どもの良好な健康状態の維持と保護者の経済負担軽減を図るため、「子ども医療費支援制度」を設けています。受診する医療機関ごとの自己負担額は、入院1日あたり500円(月7日上限)、通院1月あたり600円、調剤無料となります(3歳未満はすべて無料)。さらに、8月1日から対象年齢を18歳まで引き上げ、支援体制を拡充しました(令和8年7月31日まで)。詳しくは、子育て・健康課(☎093・588・1036)まで。



わたしたちにできることは？

フェアトレード製品を購入しましょう！

日本では、発展途上国において生産されたコーヒー、紅茶、チョコレートといった食品や、コットン製品をはじめとする日用品などがとても安い値段で販売されています。その安さを生み出すため、発展途上国では、劣悪な労働環境での生産を強いられていること、また、正当な対価を受け取ることができていないことも少なくありません。私たちが普段の買い物で、適正な基準で取引、生産された「フェアトレード製品」を選ぶことが、現地の生産者の生活改善につながり、世界の貧困問題を解決する力になります。



● 普段の生活の中でできる具体的な取り組み

- ・バレンタインデーや母の日に、フェアトレードのチョコレートや花を贈りましょう。
- ・お買い物のときはフェアトレード認証ラベルを目印に。

SDGsの取り組み募集

あなたのSDGsの取り組みを広報紙や苅田町HPで紹介させてください！

- 募集内容：SDGs目標達成のための取り組み
- 対象：町内の企業、団体、個人などなたでも
- 申込方法：苅田町ホームページ内「SDGs専用ページ」から様式をダウンロードして、郵送またはメールで申し込み
URL：https://www.town.kanda.lg.jp/_1032/_7150.html メール：kikakuseisakuka@town.kanda.lg.jp
郵送先：〒800-0392 苅田町富久町1-19-1 苅田町役場 企画政策課 企画担当(☎093・588・1006)
- 留意事項：掲載号などの調整のため、後日、申請者の方にご連絡いたします。簡単な取材(写真撮影含む)にご対応いただく場合があります。